

平成25年度教職員による自己評価 集計結果

※ 評価基準

4 = よくあてはまる。大変努力している。	3 = ややあてはまる。努力している。
2 = あまりあてはまらない。あまり努力していない。	1 = 全くあてはまらない。努力不足である。

平成25年度教職員による自己評価項目

番号	項 目		評価基準(人)				今年 平均	昨年 平均	評価基準(%)				4・3の%変化	
			4	3	2	1			4	3	2	1	今年度	昨年度
1	校訓である「自律・敬愛・剛健」を基本理念として生徒に対し「知・徳・体」の調和のとれた人間形成を行っている。		16	32	3	0	3.3	3.2	31	63	6	0	94	- 98
2	報告・連絡・相談を確実にし、教育活動の改善に努めている。		24	24	3	0	3.4	3.3	47	47	6	0	94	- 98
3	研究授業・相互参観等や生徒による授業評価アンケートを活用し、教科内で連携しながら指導の改善に努めている。		14	23	13	0	3.0	2.9	28	46	26	0	74	↓ 86
4	文武両道の実現を図るため、部活動指導にも十分取り組んでいる。		23	15	12	1	3.2	3.1	45	29	24	2	74	- 76
5	生徒に学習課題（予習・復習、宿題等）を適切に課している。		22	24	2	0	3.4	3.1	46	50	4	0	96	↑ 86
6	授業の振替・補充を行うなど授業時数の確保に努め、授業は開始のチャイムで始まり終りのチャイムで終わらせるようにしている。		24	18	5	1	3.4	3.4	50	38	10	2	88	- 95
7	宅習時間確保のために具体的・効果的な指導助言を行っている。		23	22	3	0	3.4	3.4	48	46	6	0	94	- 97
8	基本的な生活習慣の確立や服装容儀等について、徹底した指導をしている。		30	19	2	0	3.5	3.3	59	37	4	0	96	- 96
9	生徒が日常的にあいさつができるよう指導に努めている。		30	19	2	0	3.5	3.4	59	37	4	0	96	- 92
10	清掃や週番活動を通して美化指導に努めている。		21	24	6	0	3.3	3.2	41	47	12	0	88	- 90
11	大学入試問題分析等の成果を教科指導に活かしている。		22	21	5	0	3.4	3.2	46	44	10	0	90	- 92
12	進路情報等を配付し確実に家庭へ届くようにしている。		17	20	11	0	3.1	3.0	35	42	23	0	77	- 85
13	中学校や大学等との連携の推進に努めている		18	24	6	0	3.3	3.2	38	50	13	0	88	- 90
14	快適な学習環境のための施設・設備の改善に積極的に関わっている。		19	24	8	0	3.2	3.2	37	47	16	0	84	- 87
15	適切な会計処理を行っている。		35	14	2	0	3.6	3.5	69	27	4	0	96	- 100
16	1学年	川内高校生として望ましい基本的な生活習慣を身につけさせるように努めている。	15	8	1	0	3.6	3.7	63	33	4	0	96	- 100
17		適性に応じた進路設計をさせ、進路実現のための基礎学力の充実に努めている。	10	13	1	0	3.4	3.3	42	54	4	0	96	- 95
18	2学年	中堅学年の自覚と責任を持たせ、学校行事、部活動や清掃等に主体的に取り組ませるように努めている。	14	9	0	0	3.6	3.2	61	39	0	0	100	- 100
19		進路研究をより一層推進し進路目標の具体化を図った。さらに、宅習時間を増加させ、基礎学力と応用力の養成に努めている。	10	12	1	0	3.4	3.1	43	52	4	0	95	- 94
20	3学年	全ての教育活動に積極的に参加・活動させ、規則を遵守するなど、規律正しい心豊かな調和の取れた生徒の育成に努めている。	11	13	0	0	3.5	3.2	46	54	0	0	100	- 95
21		進路実現のために適切な進路指導を実践し、目標達成のための学力を身につけさせるように努めている。	12	11	0	0	3.5	3.4	52	48	0	0	100	- 100

(対象職員 51人) (単位は%)

10%以上増加	↑
10%以下の増減	-
10%以上減少	↓